

地域医療介護総合確保基金を活用した補助制度について

参考2

1 補助メニュー

(1) 病床機能分化・連携推進施設設備整備費補助金(回復期転換分)

医療機関が実施する高度急性期又は急性期病床等から回復期病床へ転換等を行うための施設・設備整備事業に要する経費への補助

区分	補助対象経費	基準額	補助率
施設補助	回復期病床の整備に必要な施設の新築、増改築、及び改修に要する工事費又は工事請負費	整備後に増加する回復期病床1床当たり 3,200千円	1/2
設備補助	回復期病床の整備に必要な医療機器の備品購入費	1施設当たり 6,000千円	

(2) 病床機能分化・連携推進施設設備整備費補助金(在宅医療分)

医療機関が行う訪問(歯科)診療及び訪問診療の後方支援並びに訪問看護ステーションが行う訪問看護(以下「訪問診療等」という。)の実施に要する設備整備事業に要する経費への補助

補助対象経費	基準額	補助率
訪問診療等の実施に必要な医療機器及び車両の購入費	1施設当たり ただし、車両については3,000千円を上限とする 5,000千円	1/2

(3) 在宅医療推進医療クランク導入事業費補助金(H30年度新規)

在宅医療に取り組む診療所の医師事務作業補助者(医療クランク)の人件費への補助

補助対象経費	基準額	補助率
医師事務作業補助者(医療クランク)の人件費	1施設当たり 2,000千円	1/2

(4) 病床機能分化・連携推進施設設備整備費補助金(用途変更分)(平成30年度補正により追加)

非稼働病床の有効活用や従業者の勤務環境改善を図るため、病棟・病室等を従業者の休憩室や会議室など他の用途へ変更するために必要な改修費用への補助

補助対象経費	基準額	補助率
病床削減に伴い不要となる病室等を職員休憩室等の他の用途に変更するための改修工事費	1床当たり 300千円	1/2

※H31年度から、建物や医療機器の処分に伴う損失等(解体・処分費用、除却損等)について補助対象に加えるよう検討中。